

平成28年度前期神奈川県トレーナー研修会

1 スポーツ医科学委員会トレーナー部会

スポーツ医科学委員会トレーナー部会（以下「トレーナー部会」）は、外傷予防や健康管理等を通じ競技選手を支援するために、かながわ・ゆめ国体開催直前の平成10年1月にスポーツ医科学委員会内に発足しました。トレーナー部会では、年間を通じて、研修会の開催やメディカルサービスステーションの設置を行い、スポーツ愛好者を支援しています。

2 神奈川県トレーナー研修会

神奈川県トレーナー研修会（以下「トレーナー研修会」）は、神奈川県内でトレーナー活動を行うトレーナーやトレーナーを目指す方を対象にトレーナーとしての資質の向上を目指して、トレーナー部会設立と同年の平成10年7月から行われています。

現在、研修会は、1講座3日間、1日4.5時間で、春と冬に2講座開講しています。3日間受講すると、受講証明書を発行し、希望者はトレーナーバンクに登録することによりトレーナー部会の事業の案内の送付を受けることができます。

カリキュラムは、日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会のカリキュラムを参考にしており、2年間で日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会と同じ科目を受講できるようになっています。

3 平成28年度前期トレーナー研修会

今回の研修会には理学療法士、柔道整復師やはり灸あん摩マッサージ師等医療資格保持者を中心にして、32の方が受講しました。受講生の中には既に日本体育協会公認アスレティックトレーナーの資格を持っている方も数人いました。

1日目の午前は2年間のカリキュラムの最初にあたるため、「トレーナーの役割」と題して、トレーナー部会長の宮崎誠司東海大学体育学部教授に講義をしていただきました。午後は、「フィジカルチェック」と題してトレーナー部会員の青柳康史氏に講義をしていただきました。前半の講義の後、後半は受講生をグループに分けてディスカッションをして結果をそれぞれ発表してもらいました。



2日目の午前は「スポーツ外傷・障害〔上肢〕」と題して横浜南共済病院スポーツ整形外科部長の山崎哲也医師に講義をしていただきました。山崎医師は、プロ野球球団のスポーツドクターもしており、講義も豊富な臨床経験に基づいた有意義なものでした。午後は、「スポーツ動作の基本〔投〕」と題して横浜南共済病院リハビリテーション科の栗田健氏に講義・実習をし

ていただきました。投球動作を分解して理論的に解説した後、障害部位を特定する実習を行っていただきました。

3日目の午前は「内科的スポーツ障害〔熱中症〕」と題してスポーツ医科学委員の石田浩之慶應義塾大学スポーツ医学研究センター准教授に講義していただきました。午後は、日本赤十字社神奈川県支部の救急法認定指導員3人によるAED使用方法・心肺蘇生等の「救急処置」実習をしていただきました。



3日間を通じての感想を受講生に聞いてみたところ、全国的に著名な講師による講義で最新の知識が学べることはもちろん、基本的な項目も知識の再確認になるので非常に有意義な研修だったとのことでした。

今後もトレーナーの資質向上につながるような研修を企画し、県内のスポーツ現場におけるトレーナー活動普及の一翼を担っていきたいと思います。